

# 公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

## 第27回理事会

### 提案事項

#### 1 提案事項

第1号提案	2024年度事業報告	P3
資料1	2024年度事業報告書(案)	P4
資料2	監査報告	P22
第2号提案	2024年度決算	P24
資料3	2024年度財務諸表等(案)	P25
第3号提案	財務委員会の委員の選任	P33
資料4	財務委員会委員名簿	P34
第4号提案	第12回社員総会の開催	P36

#### 2 報告事項

第1号報告	2024年度内部監査結果	P37
第2号報告	特定寄附金及び指定寄附金に関する指定期間の延長	P38
第3号報告	理事の利益相反取引の報告	P39
資料5	第42回全国都市緑化ぎふフェア「GREEN×EXPO 2027 PR出展」の実施に関する協定書(令和7年度)	P41
資料6	第41回全国都市緑化かわさきフェア「GREEN×EXPO 2027 PR出展」の実施に関する協定書(令和7年度)	P46
資料7	横浜市職員の派遣に関する取決め	P51

#### 3 参考

第27回理事会役員名簿	P53
-------------	-----

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会  
第27回理事会  
提案書

## 提案事項 第1号提案

# 2024年度事業報告

定款第42条第1項の規定により、2024年度事業報告について、資料1のとおり提案します。

なお、監事からは、資料2のとおり監査報告を受領しています。

### 【参考条文】

○公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 定款

第42条 協会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、代表理事が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
- (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
- (6) 財産目録

### 【資料】

- ・ 資料1 2024年度事業報告書（案）
- ・ 資料2 監査報告

# 2024 年度事業報告書 (案)

自 2024 年 4 月 1 日

至 2025 年 3 月 31 日

公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会

# 公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

## 2024年度 事業報告書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

### 1 博覧会の開催に向けた事業の実施

#### I 認知拡大・機運醸成に関する事業の実施

##### (1) 多様なメディアを活用した取組

- ・「GREEN×EXPO 2027 開催 1000 日前記者発表会」において、公式マスコットキャラクターの名前発表を行うとともに、市民参加のキックオフとして、個人、団体、教育機関等で活動されている皆様にも広くご使用いただける応援メッセージ付き公式ロゴマークの発表を行いました。  
あわせて、横浜市と連携し「GREEN×EXPO 2027 開催 1000 日前イベント」を開催し、ワークショップやステージイベント、展示など多彩なプログラムを実施しました。(6月)
- ・GREEN×EXPO 2027 に参画する出展内定者を発表する「GREEN×EXPO 2027 第一次内定者発表会」(10月)及び出展内定者を対象とした「内定者向け説明会」(11月)をメディア露出の機会として活用し、情報発信を行いました。
- ・「GREEN×EXPO 2027 開催 2 年前記者発表会」において、会場の主要施設であるテーマ館などの展示計画を含む最新の会場計画のほか、Village 出展、花・緑出展、テーマ営業出店の新たな内定者を発表しました。(3月)
- ・公式ホームページを6月にリニューアルし、公式 SNS と連携しながら、開催準備に向けた取組などの最新情報の積極的な発信を行いました。
- ・農園芸業界専門誌や一般誌等のメディア媒体の読者への認知度向上を図るべく、広告出稿・記事掲載を行いました。

#### 【主な機関紙・会報誌名等】【発行元】(寄稿順)

機関紙・会報誌名等	発行元
GREENAGE	一般財団法人 日本緑化センター
園芸文化	公益社団法人 園芸文化協会
緑化通信	一般社団法人 日本植木協会
みどり	公益社団法人 横浜市緑の協会
公園緑地	一般社団法人 日本公園緑地協会
花キューピットだより	一般社団法人 JFTD
造園連新聞	一般社団法人 日本造園組合連合会
JHTS ニュースレター	NPO 法人 日本園芸療法研修会

都市公園	公益財団法人 東京都公園協会
日刊建設工業新聞	日刊建設工業新聞社
種苗界	一般社団法人 日本種苗協会
全植検協通報	一般社団法人 全国植物検疫協会
JFTD だより	一般社団法人 JFTD
JFMA ニュース	日本フローラルマーケティング協会
横造協だより	一般社団法人 横浜市造園協会
日刊建設通信新聞	株式会社 日刊建設通信新聞社
造園修景	一般社団法人 日本造園修景協会
公園緑地	一般社団法人 日本公園緑地協会
GA コミュニケーション	公益社団法人 日本家庭園芸普及協会
Discover Japan	(株)ディスカパーズジャパン
いま振り返る！万博の思い出	株式会社 宝島社
横浜商工季報	横浜商工会議所
園芸文化協会 創立 80 周年記念寄稿集	公益社団法人 園芸文化協会
家庭園芸	株式会社 サカタのタネ
ビタミンママ	株式会社 VM
横浜 LOVE Walker	角川アスキー総合研究所
るるぶ まちという神奈川	JTB パブリッシング
The Japan times SUSTAINABLE JAPAN MAGAZINE	株式会社 ジャパン タイムズ

## (2) 多様な主体の参画による取組

- ・国内で開催される関連イベント等の機会を活用したプロモーションを行いました。
- ・開催意義の理解促進や来場者の増加、ブランド価値の向上を目的として、統一的なビジュアル・アイデンティティ (VI) を策定し、横浜市と連携しながら「開催 1000 日前」や「開催 2 年前」にあわせた街なか装飾、交通機関のラッピングなどを実施しました。(6 月、3 月)
- ・機運醸成を目的とした交通広告の協賛プロジェクトの募集を開始し、交通事業者と連携しながら、公式マスコットキャラクター「トゥンクトゥンク」をデザインに使用した駅構内や車両等のラッピングを実施しました。(3 月)
- ・「第 41 回全国都市緑化かわさきフェア」に参加し、神奈川県立吉田島高等学校をはじめ多様な人々との協働により、モニュメントと、花壇による PR 作品を展示しました。また、神奈川県立の 5 つの農業高校による「GREEN LEADERSHIP CLUB」の活動として、庭園出展を行いました。(10 月)
- ・公式ロゴマークや公式マスコットキャラクターなどを使用した各種商品の企画・製造・販売に向けて、当協会の知的財産を活用したライセンス事業を推進する「2027 年国際園芸博覧会マスターライセンスオフィス (2027ML0)」を開設しました。(12 月) また、初のオフィシャルストアをオープンし、公式ライセンス商品の販売を開始しました。(3 月)

- ・多様な主体と連携したシンポジウム等として、(一社)ポートランド日本庭園、ジャパンインスティテュート及び東京大学と連携したフォーラムを開催しました。(5月)また、(公財)国際花と緑の博覧会記念協会と連携し、シンポジウムを開催しました。(3月)
- ・ボランティアの募集・研修・活動等に関する計画を策定しました。

【2024年度の主な出展イベント】

イベント名	開催期間	開催場所
横浜フラワー&ガーデンフェスティバル	5月3日～6日	横浜市(パシフィコ横浜)
浜名湖花博2024 ステージイベント	5月11日	静岡県浜松市
ハマフェス Y165	5月25日～26日	横浜市(山下公園)
横浜開港祭	6月1日～2日	横浜市(臨港パーク)
日本造園学会全国大会	6月14日～16日	愛知県名古屋市
サマーコンファレンス2024	7月20日	横浜市(パシフィコ横浜)
ホストタウンフェスティバル2024	8月26日	東京都港区
都市緑化キャンペーン2024	10月4日	東京都千代田区
新横浜パフォーマンス	10月5日～6日	横浜市(新横浜駅前広場)
ワールドフェスタ・ヨコハマ	10月12日～13日	横浜市(山下公園)
アジア・スマートシティ会議	10月23日～24日	横浜市(パシフィコ横浜)
日比谷公園ガーデニングショー2024	10月24日～27日	東京都千代田区
第41回全国都市緑化かわさきフェア	10月19日～11月17日	川崎市
グリーンインフラ産業展2025	1月29日～31日	東京都江東区
Flower Fes 2025	3月22日～23日	横浜市(旧上瀬谷通信施設跡地)

## II 各分野の事業の実施

### (1) 公式参加者招請活動・支援及び国際園芸家協会（以下「AIPH」という。）・博覧会国際事務局（以下「BIE」という。）との調整

#### ア 外国政府・国際機関への参加招請活動

- ・2027年国際園芸博覧会政府委員を始めとする日本政府（在外公館含む）や開催地自治体と連携し、相手国・国際機関の意思決定者や駐日大使等への働きかけを行いました。二国間会談や国際会議等の機会をとらえるとともに、駐日外交団向けの説明会や現地視察会を実施しました。

#### イ 公式参加者（参加を表明した外国政府・国際機関）への支援

- ・公式参加者が円滑に出展準備を行うことができるよう、説明会や現地視察会を始め、様々なルートを通じて情報提供を行うとともに、支援体制の構築を進めました。

#### ウ AIPH 及び BIE との調整

- ・AIPH 及び BIE と A 1 クラスの国際園芸博覧会の開催に必要な連絡調整を行いました。

#### (ア) AIPH 及び BIE の要件等に基づく特別規則や計画等の検討

- ・特別規則第4号（建設）、第5号（機械・設備）、第7号（輸送・通関）及び第10号（一般サービス）が6月のBIE総会、第9号（営業）が11月のBIE総会で承認されました。
- ・特別規則第7号（輸送・通関）に係る植物検疫のガイドライン、第4号（建設）に係るガイドラインを公表しました。

#### (イ) AIPH 及び BIE への主な進捗報告等

2024年 4月	BIE 事務局長訪日にあわせた意見交換
2024年 4月	BIE 執行委員会・情報コミュニケーション委員会（フランス・パリ）における進捗報告
2024年 6月	AIPH による開催3年前視察
2024年 6月	BIE 総会（フランス・パリ）における進捗報告
2024年 8月	BIE 事務局長訪日にあわせた意見交換
2024年 9月	AIPH 博覧会委員会（ポーランド・ワルシャワ）における進捗報告
2024年 10月	BIE 執行委員会・情報コミュニケーション委員会（フランス・パリ）における進捗報告
2024年 11月	BIE 総会（フランス・パリ）における進捗報告及び BIE 事務局長との意見交換
2024年 12月	BIE キャパシティビルディングプログラム（ペルー・リマ）における中南米諸国に対する PR
2025年 2月	AIPH 博覧会委員会（タイ・チェンライ）における進捗報告

## (2) 会場整備

- ・会場整備の実施設計を行うとともに、上瀬谷整備事務所を開設し、会場整備工事に着手しました。
- ・屋内展示施設や飲食物販施設等の実施設計を行いました。
- ・横浜市の条例に基づき、環境影響評価書の作成など環境影響評価手続を計画的に実施しました。

## (3) 植物監理

- ・植物監理・調達・維持管理に関する検討の深度化を行いました。
- ・開催に向け、植物調達パートナー等と連携し、植物の育成を開始しました。

## (4) 運営管理

### ア 会場運営全般

- ・来場者等の安全確保及び博覧会の円滑な運営を図るために必要な事項を協議し、計画の策定に資することを目的として、安全対策、医療救護及び会場衛生に係る各協議会を設置しました。
- ・会場を安全かつ円滑に運営し、来場者が安心・安全に過ごす環境を整えるため、警備、消防・防災、医療・救護及び会場衛生に関する基本計画の検討を行いました。
- ・満足度の高い来場者サービスを提供するための来場者サービス計画の検討を行いました。
- ・会場内の快適性と美観を維持するための会場内清掃・廃棄物管理基本計画の検討を行いました。

### イ ICT関係

- ・効率的なサイバーセキュリティ対策のための業務検討及び有識者協議会の開催準備を行いました。
- ・会場内の安定した通信環境構築のための基本設計を実施しました。

### ウ 入場券販売システム

- ・入場券販売システム及び入場券の適切な価格・券種の検討を行うとともに、多様な販売チャネルの開拓から実際の販売までを担う入場券販売管理センターの開設準備を行いました。

### エ 物流関係

- ・会場までの貨物輸送と会場内での物流業務を円滑に運営するための物流基本計画を策定しました。

## (5) 展示・出展

### ア 主催者展示

- ・テーマ館展示及び園芸文化館展示の実施設計を行いました。
- ・Village やゾーンの修景と一体的に行う展示の実施設計を行いました。

### イ 政府出展

- ・国土交通省より屋外展示の出展準備に係る業務を受託し、実施設計を行いました。

#### ウ 一般参加者出展

- ・花・緑出展について、自治体や企業・団体等に対し公募を行い、自治体において73件、企業・団体・個人において287件の内定を公表しました。また、出展内定者向け説明会を開催し、出展に向けた手続等を進めました。
- ・Village出展について、企業・団体に対し公募を行い、13件の内定を公表しました。また、出展内定者向け説明会を開催し、出展に向けた手続等を進めました。
- ・テーマ営業出店について、企業・団体に対して公募を行い、4件の内定を公表しました。また、出店内定者向け説明会を開催し、出店に向けた手続等を進めました。
- ・一般営業出店について、出店を募るための営業実施計画を策定するとともに、参加の勧奨に向けた準備を行いました。
- ・協賛について、制度設計を行い、プロジェクト協賛と一般協賛の公募を開始しました。魅力的な博覧会の実現のために、協賛の勧奨等を行いました。

#### エ コンペティション

- ・AIPH規則に則りコンペティション規則の策定に向けた検討を進めました。

#### (6) 行催事

- ・多様な参加の促進のために、行催事実施計画及び催事管理センター運営実施計画の策定を行いました。
- ・魅力的な博覧会の実現のために、行催事の参加勧奨に向けた準備を行いました。

#### (7) 輸送対策

- ・輸送の基本的な考え方を示した来場者輸送基本計画をもとに、周辺道路における交通シミュレーションやシャトルバスの運行計画など具体的な検討・調整を行い、来場者輸送実施計画の策定に向けた検討を行いました。

#### (8) 持続可能性に向けた取組

- ・サステナビリティ戦略等に基づく事業の推進・検討を行い、持続可能性に配慮した調達を行うため、調達コードの運用を行いました。
- ・持続可能性有識者委員会での審議等を踏まえ、サステナビリティ教育計画、サステナビリティ コミュニケーション・エンゲージメント計画及び資源循環の考え方を策定しました。
- ・障がい当事者や学識経験者の皆様に参画いただいた検討会での検討を踏まえ、2027年国際園芸博覧会 アクセシビリティ・ガイドラインを策定しました。

### III 事務局体制の整備・強化と健全な財務運営

#### (1) 事務局体制の整備・強化

- ・事務局体制の整備・強化や、国・経済界・自治体から業務に応じた多様な人材の確保、効率的な事務局体制とするため組織体制の見直しを行いました。

#### (2) ガバナンス機能の強化

- ・継続的なコンプライアンスの推進に向け、外部の有識者を加えたコンプライアンス委員会を定期的開催しました。
- ・入札・契約における適正な競争環境や適切な履行の確保を図りました。

#### (3) 効果的・効率的な予算の管理・執行

- ・資金計画に基づく資金調達及び予算管理を行いました。
- ・予算執行段階における事業実施方法の検証及びコスト削減を行いました。
- ・会場建設費の変更に当たり、関係機関へ要請を行いました。

#### (4) 財務基盤の強化に向けた資金調達

- ・寄附金の募集・拡充に向けた取組を進めました。
- ・補助金等の各種資金の確保に向けた調整を図りました。

### IV 社員総会・理事会の開催

#### (1) 社員総会

##### ア 第9回（定時）社員総会（2024年6月19日）

##### (ア) 開催場所

東京商工会議所 5階 渋沢ホール（東京都千代田区丸の内3-2-2）  
（web会議システムの併用による会議）

##### (イ) 決議事項

- ・理事の再任について
- ・2023年度決算について

##### (ウ) 報告事項

- ・2023年度事業報告について
- ・2024年度事業計画及び予算について

##### (エ) 出席等

全議決権数 10 団体、出席社員数 10 団体、出席理事数 20 名、  
出席監事数 2 名

##### イ 第10回（臨時）社員総会（2024年12月4日）

##### (ア) 開催場所

決議省略の方法による

##### (イ) 提案事項

- ・理事の選任について

(ウ) 出席等

提案事項につき、社員の全てから書面により同意の意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなされた。

**ウ 第 11 回（臨時）社員総会（2025 年 1 月 20 日）**

(ア) 開催場所

決議省略の方法による

(イ) 提案事項

- ・ 理事の選任
- ・ 常勤理事の報酬の額

(ウ) 出席等

提案事項につき、社員の全てから書面により同意の意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなされた。

**(2) 理事会**

**ア 第 17 回理事会（2024 年 6 月 5 日）**

(ア) 開催場所

決議省略の方法による

(イ) 提案事項

- ・ 2023 年度事業報告について
- ・ 2023 年度決算について
- ・ 常勤理事の報酬の額について
- ・ 財務委員会の委員の選任について
- ・ 理事の利益相反取引の承認について
- ・ 第 9 回（定時）社員総会の開催について

(ウ) 報告事項

- ・ 2023 年度内部監査結果について
- ・ 特定寄附金及び指定寄附金に関する指定期間の延長について
- ・ 理事の利益相反取引の報告について

(エ) 出席等

提案事項につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事的全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

**イ 第 18 回理事会（2024 年 6 月 19 日）**

(ア) 開催場所

東京商工会議所 5 階 渋沢ホール（東京都千代田区丸の内 3-2-2）  
（web 会議システムの併用による会議）

- (イ) 決議事項
  - ・ 事務総長及び事務次長の選定について
- (ウ) 報告事項
  - ・ 政府委員の就任について
  - ・ GREEN×EXPO 2027 の進捗状況について
  - ・ 2024 年度の理事会総会等の予定について
- (エ) 出席等  
議決権のある総理事数 24 名、出席理事数 20 名、出席監事数 2 名

#### ウ 第 19 回理事会（2024 年 9 月 9 日）

- (ア) 開催場所  
決議省略の方法による
- (イ) 提案事項
  - ・ 財務委員会の委員の選任について
  - ・ 理事の利益相反取引の承認について
- (ウ) 出席等  
提案事項につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

#### エ 第 20 回理事会（2024 年 11 月 27 日）

- (ア) 開催場所  
決議省略の方法による
- (イ) 提案事項
  - ・ 第 10 回社員総会の開催について
- (ウ) 出席等  
提案事項につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

#### オ 第 21 回理事会（2024 年 12 月 4 日）

- (ア) 開催場所  
決議省略の方法による
- (イ) 提案事項
  - ・ 事務次長（業務執行理事）の選定について
  - ・ 会長職を代行する事務総長及び事務次長の順序について
  - ・ 事務次長の職務権限規程の改正について
  - ・ 理事の利益相反取引の承認について

(ウ) 出席等

提案事項につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

**カ 第 22 回理事会（2024 年 12 月 23 日）**

(ア) 開催場所

東京商工会議所 5階 RoomA1+A2（東京都千代田区丸の内3-2-2）  
（web 会議システムの併用による会議）

(イ) 報告事項

- ・ GREEN×EXPO 2027 の進捗状況
- ・ GREEN×EXPO 2027 会場予定地等の視察報告

(ウ) 出席等

議決権のある総理事数 24 名、出席理事数 19 名、出席監事数 2 名

**キ 第 23 回理事会（2025 年 1 月 13 日）**

(ア) 開催場所

決議省略の方法による

(イ) 提案事項

- ・ 第 11 回社員総会の開催

(ウ) 出席等

提案事項につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

**ク 第 24 回理事会（2025 年 1 月 20 日）**

(ア) 開催場所

決議省略の方法による

(イ) 提案事項

- ・ 常勤理事の報酬の額
- ・ 事務次長（業務執行理事）の選定
- ・ 代表理事及び会長の代行順位
- ・ 事務次長の職務権限規程の改正

(ウ) 出席等

提案事項につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たため、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

## ケ 第 25 回理事会（2025 年 3 月 21 日）

### （ア）開催場所

日経カンファレンスルーム

（東京都千代田区大手町 1－3－7 日経ビル 6 階）

（web 会議システムの併用による会議）

### （イ）決議事項

- ・ 2025 年度 事業計画及び収支予算
- ・ 役員賠償責任保険
- ・ 財務委員会の委員の選任
- ・ 事務次長の職務権限規程の改正
- ・ 理事の利益相反取引の承認

### （ウ）報告事項

- ・ 会場建設費の変更
- ・ 公式参加者の招請活動
- ・ 広報・機運醸成の取組

### （エ）出席等

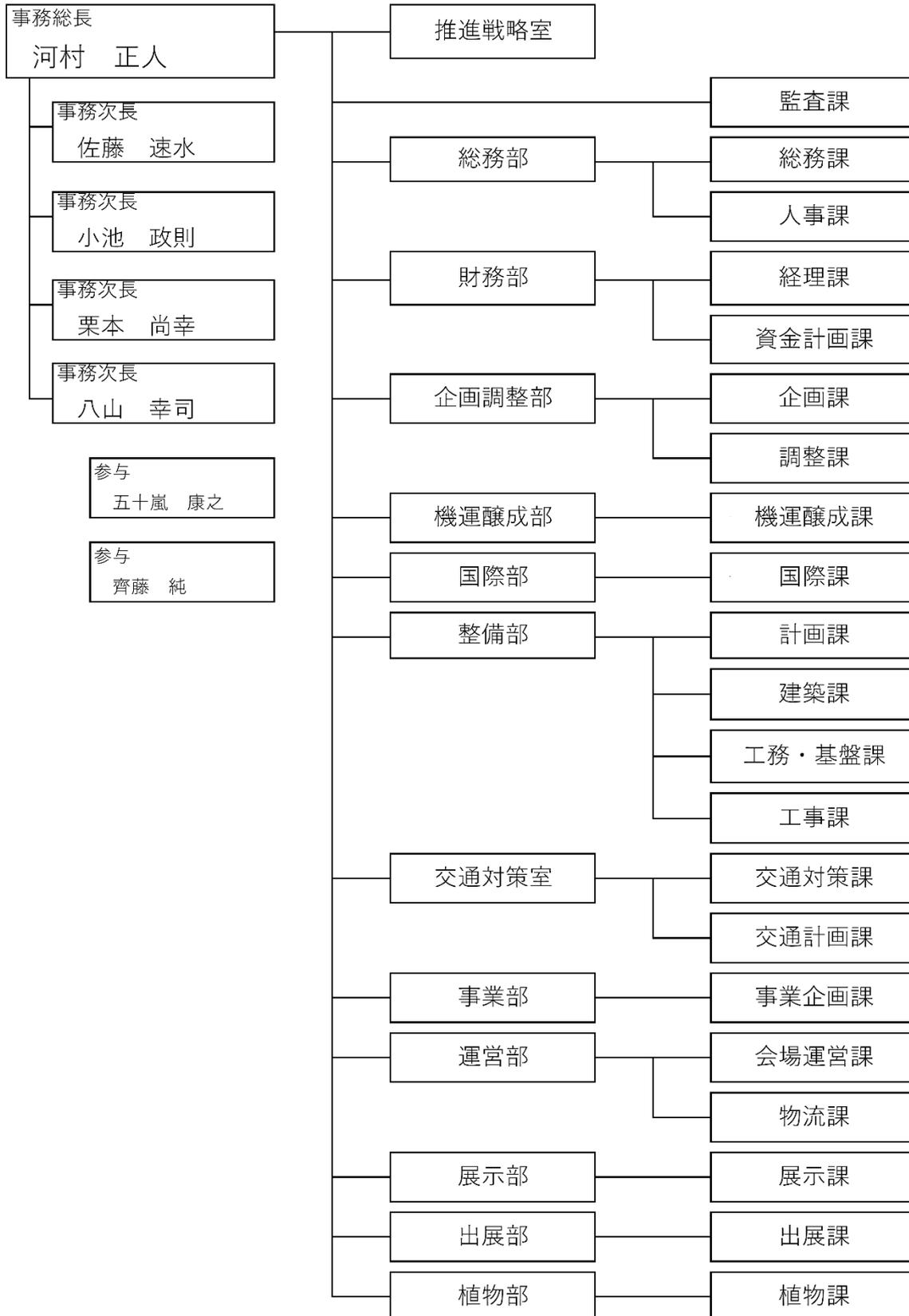
議決権のある総理事数 25 名、出席理事数 17 名、出席監事数 2 名

## V 事務局体制【人事課】

### 事務局組織図（2025年1月20日時点）

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事務局組織図

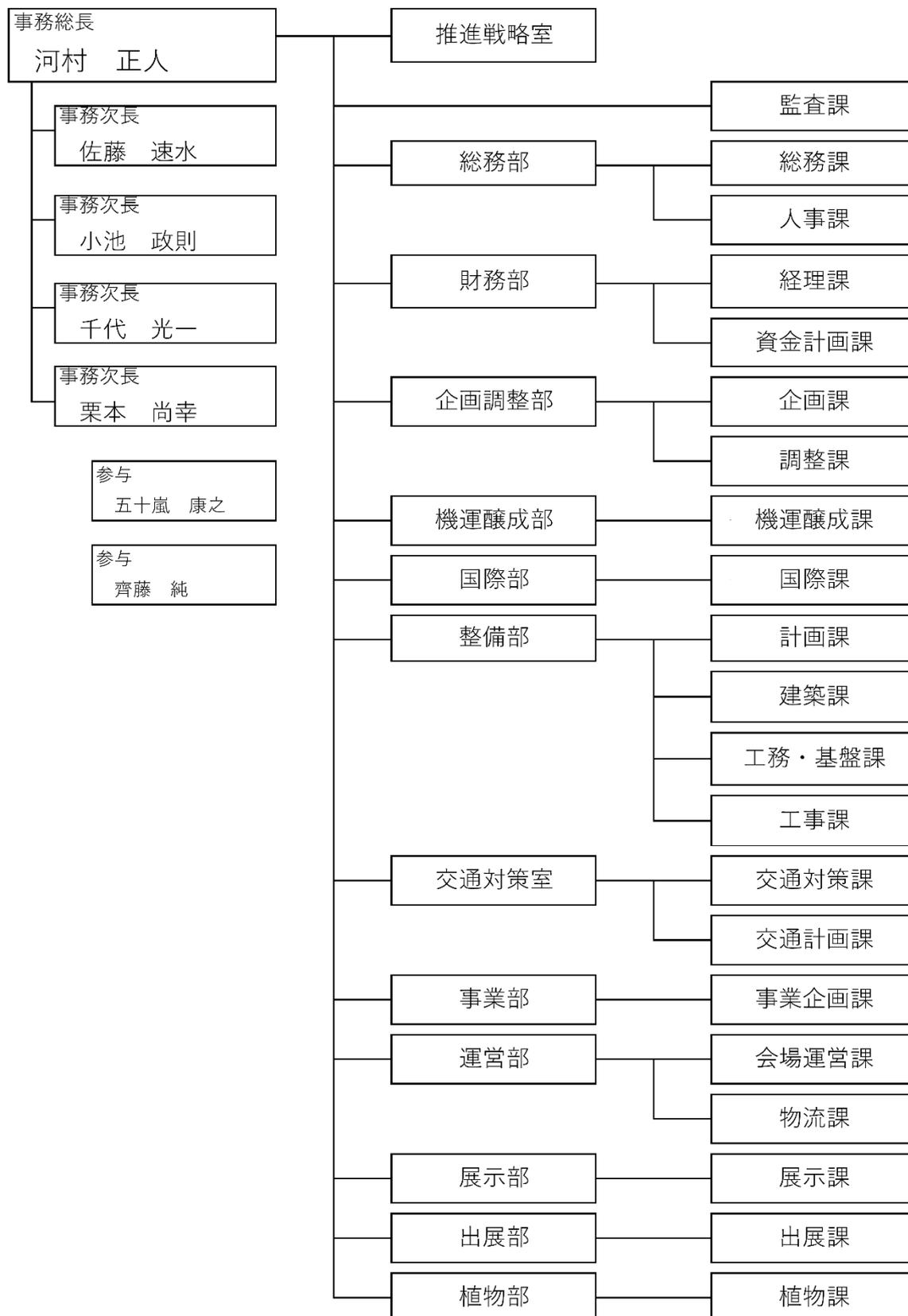
2025年1月20日現在



## 事務局組織図（2025年1月時点）

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事務局組織図

2025年1月現在

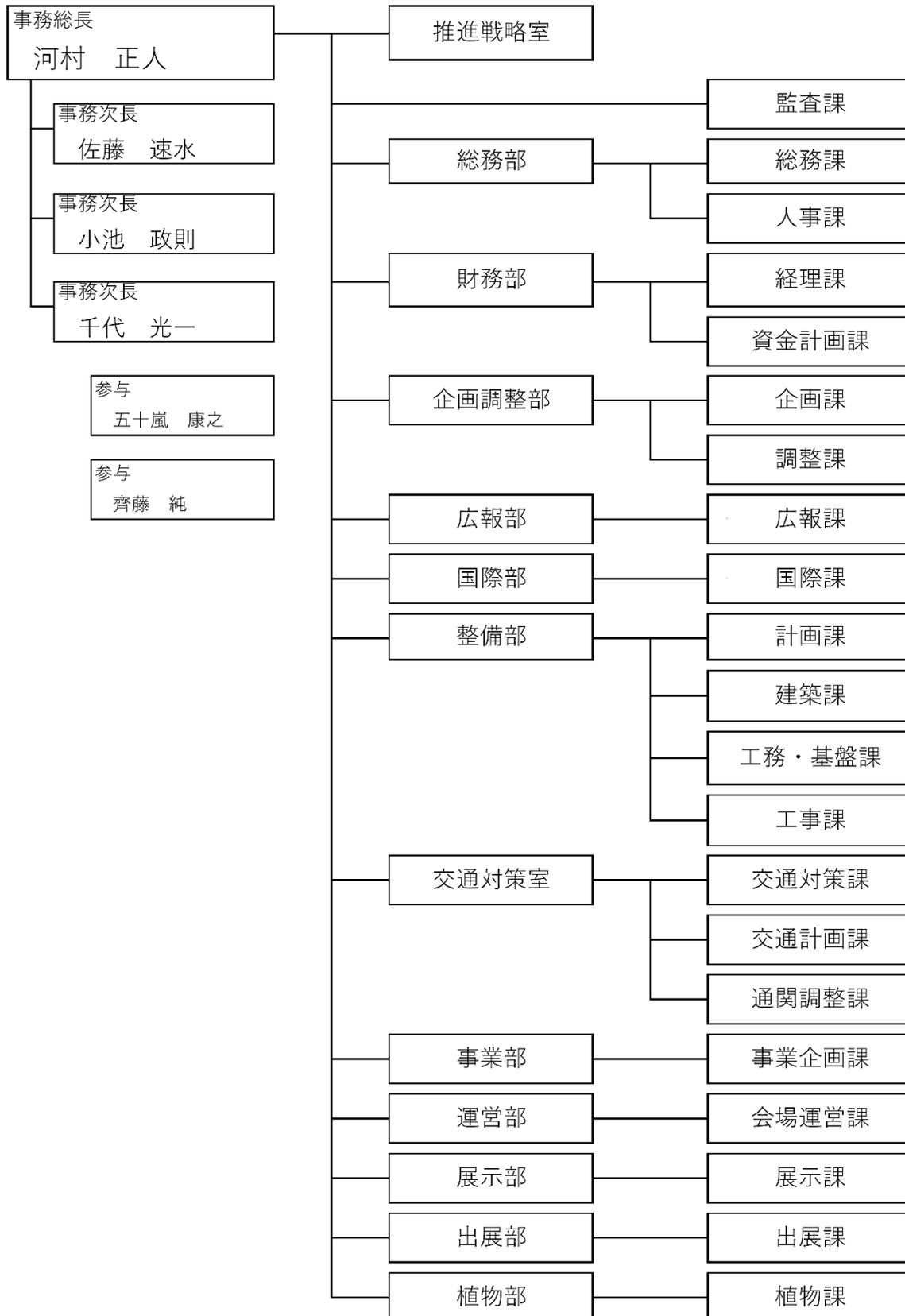




# 事務局組織図（2024年7月時点）

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事務局組織図

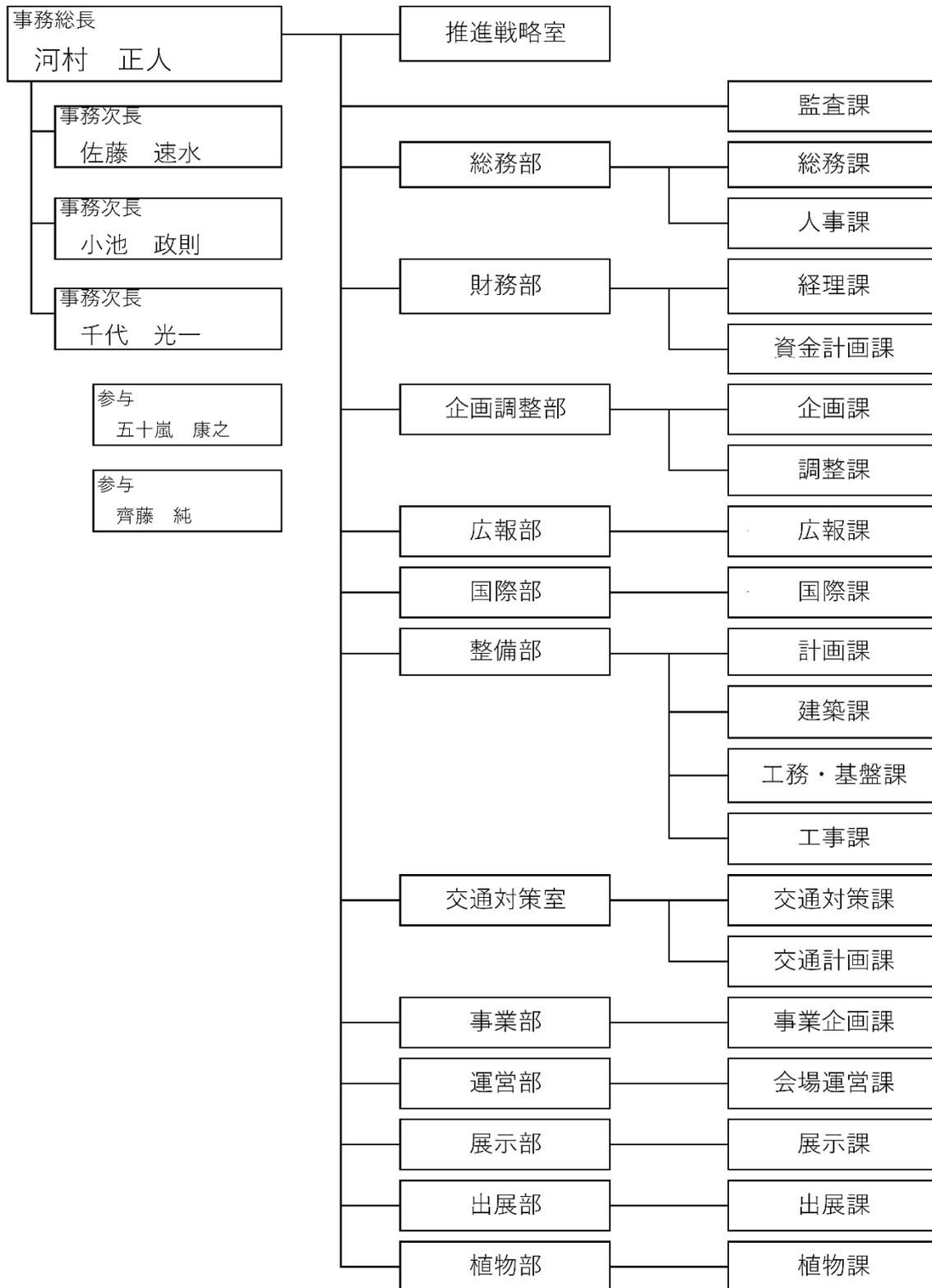
2024年7月現在



# 事務局組織図（2024年4月時点）

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事務局組織図

2024年4月現在



## 事業報告書の附属明細書

2024年度事業報告（2024年4月1日から2025年3月31日まで）には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」として記載すべきことはない。

2025年5月22日

## 監査報告

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

代表理事 十倉 雅和 殿

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

監事 太田 眞晴



2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁文書等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

2025年5月22日

## 監査報告

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

代表理事 十倉 雅和 殿

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

監事 二川 裕之



2024年4月1日から2025年3月31日までの事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

### 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁文書等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

## 提案事項 第2号提案

### 2024年度決算

定款第42条第1項の規定により、2024年度決算について、資料3のとおり提案します。  
なお、監事からは、資料2のとおり監査報告を受領しています。

#### 【資料】

- ・ 資料3 2024年度財務諸表等（案）

## 2024 年度財務諸表等

(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

(案)

公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会

## 目 次

貸借対照表	27
正味財産増減計算書	28
財務諸表に対する注記	30
附属明細書	31
財産目録	32

# 貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
預金	3,219,284,913	1,767,175,016	1,452,109,897
未収金	664,994,401	139,237,028	525,757,373
未収消費税等	7,219,657	0	7,219,657
前払金	2,870,610	2,500,000	370,610
立替金	11,393,040	5,522,791	5,870,249
前払費用	9,740,153	6,087,884	3,652,269
流動資産合計	3,915,502,774	1,920,522,719	1,994,980,055
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 特定資産</b>			
什器備品	2,338,768	1,337,250	1,001,518
建設仮勘定	3,140,695,695	1,020,529,852	2,120,165,843
特定資産合計	3,143,034,463	1,021,867,102	2,121,167,361
<b>(2) その他固定資産</b>			
建物附属設備	28,718,680	23,625,902	5,092,778
什器備品	15,398,071	10,809,176	4,588,895
商標権	5,110,867	1,703,966	3,406,901
商標権仮勘定	0	3,775,015	△ 3,775,015
敷金	21,065,700	21,065,700	0
その他固定資産合計	70,293,318	60,979,759	9,313,559
固定資産合計	3,213,327,781	1,082,846,861	2,130,480,920
資産合計	7,128,830,555	3,003,369,580	4,125,460,975
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
短期借入金	4,265,000,000	2,510,000,000	1,755,000,000
未払金	2,718,884,793	1,628,890,696	1,089,994,097
前受金	30,000,000	0	30,000,000
預り金	1,193,343	777,927	415,416
流動負債合計	7,015,078,136	4,139,668,623	2,875,409,513
<b>2. 固定負債</b>			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	7,015,078,136	4,139,668,623	2,875,409,513
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
国庫補助金	1,046,898,232	340,176,284	706,721,948
地方公共団体補助金	1,046,898,563	340,176,615	706,721,948
寄附金	990,823,481	284,251,534	706,571,947
指定正味財産合計	3,084,620,276	964,604,433	2,120,015,843
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 3,084,620,276 )	( 964,604,433 )	( 2,120,015,843 )
<b>2. 一般正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)	△ 2,970,867,857	△ 2,100,903,476	△ 869,964,381
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 58,414,187 )	( 57,262,669 )	( 1,151,518 )
正味財産合計	113,752,419	△ 1,136,299,043	1,250,051,462
負債及び正味財産合計	7,128,830,555	3,003,369,580	4,125,460,975

**正味財産増減計算書**  
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
<b>事業収益</b>	<b>42,080,671</b>	<b>0</b>	<b>42,080,671</b>
政府出展準備業務受託収益	41,050,000	0	41,050,000
協賛等収益	792,118	0	792,118
ライセンス収益	238,553	0	238,553
<b>受取補助金等</b>	<b>31,157,750</b>	<b>183,501,374</b>	<b>△ 152,343,624</b>
受取補助金等振替額	31,157,750	183,501,374	△ 152,343,624
<b>受取寄附金</b>	<b>1,140,554,052</b>	<b>165,655,716</b>	<b>974,898,336</b>
受取寄附金振替額	1,140,554,052	165,655,716	974,898,336
<b>雑収益</b>	<b>7,999,488</b>	<b>232,461</b>	<b>7,767,027</b>
雑収益	7,999,488	232,461	7,767,027
<b>経常収益計</b>	<b>1,221,791,961</b>	<b>349,389,551</b>	<b>872,402,410</b>
<b>(2) 経常費用</b>			
<b>事業費</b>	<b>1,882,216,900</b>	<b>1,222,033,375</b>	<b>660,183,525</b>
役員報酬	45,714,199	42,194,729	3,519,470
給料手当	222,922,458	160,931,789	61,990,669
臨時雇賃金	5,131,912	5,091,745	40,167
法定福利費	109,498,654	0	109,498,654
福利厚生費	749,762	84,550,325	△ 83,800,563
会議費	399,571	223,874	175,697
旅費交通費	33,914,968	23,353,992	10,560,976
通信運搬費	542,585	765,367	△ 222,782
備用品費	5,644,953	1,457,956	4,186,997
印刷製本費	1,866,238	2,775,832	△ 909,594
光熱水料費	12,413,628	8,101,532	4,312,096
委託費	1,201,829,732	743,146,585	458,683,147
賃借料	66,346,378	44,091,279	22,255,099
保険料	477,670	0	477,670
租税公課	27,997,183	2,528,500	25,468,683
支払報酬	88,707,600	59,525,438	29,182,162
支払手数料	33,543,312	34,035,057	△ 491,745
広告宣伝費	23,340,670	8,825,438	14,515,232
減価償却費	780,508	239,682	540,826
雑費	394,919	194,255	200,664
<b>管理費</b>	<b>209,539,442</b>	<b>190,456,433</b>	<b>19,083,009</b>
役員報酬	6,249,353	5,743,557	505,796
給料手当	48,513,673	41,490,216	7,023,457
臨時雇賃金	24,629,350	23,633,056	996,294
法定福利費	27,898,438	0	27,898,438
福利厚生費	1,140,863	26,417,352	△ 25,276,489
会議費	5,808	16,987	△ 11,179
旅費交通費	2,494,764	1,486,607	1,008,157
通信運搬費	360,396	564,401	△ 204,005
備用品費	12,549,064	14,915,209	△ 2,366,145
修繕費	0	2,441,612	△ 2,441,612
印刷製本費	17,072	38,298	△ 21,226
光熱水料費	3,082,068	2,558,368	523,700
委託費	36,812,345	41,983,752	△ 5,171,407
賃借料	16,714,750	16,040,193	674,557
保険料	186,970	151,840	35,130
租税公課	409,573	801,014	△ 391,441
支払報酬	6,612,815	4,402,464	2,210,351
支払手数料	441,535	363,495	78,040
支払利息	16,718,070	3,446,296	13,271,774
減価償却費	4,084,662	3,382,330	702,332
雑費	617,873	579,386	38,487
<b>経常費用計</b>	<b>2,091,756,342</b>	<b>1,412,489,808</b>	<b>679,266,534</b>
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	<b>△ 869,964,381</b>	<b>△ 1,063,100,257</b>	<b>193,135,876</b>
評価損益等計	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 869,964,381</b>	<b>△ 1,063,100,257</b>	<b>193,135,876</b>

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 869,964,381</b>	<b>△ 1,063,100,257</b>	<b>193,135,876</b>
一般正味財産期首残高	△ 2,100,903,476	△ 1,037,803,219	△ 1,063,100,257
一般正味財産期末残高	△ 2,970,867,857	△ 2,100,903,476	△ 869,964,381
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
<b>受取補助金等</b>	<b>1,444,601,646</b>	<b>749,329,942</b>	<b>695,271,704</b>
受取国庫補助金	722,135,217	374,665,925	347,469,292
受取地方公共団体補助金	722,466,429	374,664,017	347,802,412
<b>受取寄附金</b>	<b>1,847,125,999</b>	<b>448,420,000</b>	<b>1,398,705,999</b>
受取寄附金	1,847,125,999	448,420,000	1,398,705,999
<b>一般正味財産への振替額</b>	<b>△ 1,171,711,802</b>	<b>△ 349,157,090</b>	<b>△ 822,554,712</b>
一般正味財産への振替額	△ 1,171,711,802	△ 349,157,090	△ 822,554,712
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>2,120,015,843</b>	<b>848,592,852</b>	<b>1,271,422,991</b>
指定正味財産期首残高	964,604,433	116,011,581	848,592,852
指定正味財産期末残高	3,084,620,276	964,604,433	2,120,015,843
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>113,752,419</b>	<b>△ 1,136,299,043</b>	<b>1,250,051,462</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 建物附属設備、什器備品…定額法  
無形固定資産 商標権…定額法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式です。

(3) 収益の計上基準

協賛等収益 協賛金額を協賛期間で日割りし、当年度に対応する金額を収益計上しています。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
什器備品	1,337,250	1,188,000	186,482	2,338,768
建設仮勘定	1,020,529,852	2,120,165,843	0	3,140,695,695
合 計	1,021,867,102	2,121,353,843	186,482	3,143,034,463

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	〔うち指定正味財産 からの充当額〕	〔うち一般正味財産 からの充当額〕	〔うち負債に対応 する額〕
特定資産				
什器備品	2,338,768	( 1,187,250 )	( 1,151,518 )	( 0 )
建設仮勘定	3,140,695,695	( 3,083,433,026 )	( 57,262,669 )	( 0 )
合 計	3,143,034,463	3,084,620,276	58,414,187	0

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	31,943,607	3,224,927	28,718,680
什器備品	24,524,087	6,787,248	17,736,839
商標権	5,568,663	457,796	5,110,867
合 計	62,036,357	10,469,971	51,566,386

### 5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
(受取補助金等) 2027年国際園芸博覧会 事業費補助金	横浜市	272,141,292	577,973,144	12,595,586	837,518,850	指定正味財産
2027年国際園芸博覧会 事業費補助金	神奈川県	68,035,323	144,493,285	3,148,895	209,379,713	指定正味財産
2027年国際園芸博覧会 事業費補助金	国土交通省	170,088,142	361,068,668	7,707,694	523,449,116	指定正味財産
2027年国際園芸博覧会 事業費補助金	農林水産省	170,088,142	361,066,549	7,705,575	523,449,116	指定正味財産
合 計		680,352,899	1,444,601,646	31,157,750	2,093,796,795	

### 6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
補助対象経費計上による受取補助金等振替額	31,157,750
資金使途対象経費計上による受取寄附金振替額	1,140,404,052
減価償却費計上による受取寄附金振替額	150,000
合 計	1,171,711,802

# 附 属 明 細 書

## 1. 基本財産及び特定資産の明細

特定資産について、財務諸表に対する注記2に記載をしているので内容の記載を省略しています。

## 2. 引当金の明細

該当なし

# 財産目録

(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
預金	普通預金 横浜銀行 横浜市庁支店	運転資金として	3,219,284,913
未収金	横浜市他	地方創生応援税制寄附金に係る負担金他	664,994,401
未収消費税等	横浜中税務署	還付消費税	7,219,657
前払金	(株)ラッキースター他	2025年度業務委託料	2,870,610
立替金	国	社会保険料	11,393,040
前払費用	松村(株) リブ・マックス他	4月分事務所賃貸料、清掃料 次年度賃借料	7,201,253 2,538,900
流動資産合計			3,915,502,774
(固定資産)			
特定資産	什器備品	カウンタダウンボード	2,338,768
	建設仮勘定	博覧会会場設計料他	3,140,695,695
その他 固定資産	建物附属設備	パーティション工事他	28,718,680
	什器備品	マスコットキャラクター造形他	842,188
		カラー複合機他	14,555,883
	商標権	国際園芸博覧会公式ロゴ マーク 国際園芸博覧会公式マ スコットキャラクター	1,524,602 3,586,265
	敷金	横浜市中区住吉町1-13	21,065,700
固定資産合計			3,213,327,781
資産合計			7,128,830,555
(流動負債)			
短期借入金	横浜銀行 横浜市庁支店	運転資金のための借入	4,265,000,000
未払金	横浜市他	労務委託費、給料手当、備用品費、支払報酬等	2,718,884,793
前受金	出展者	次年度出展料	30,000,000
預り金	職員他	社会保険料他	1,193,343
流動負債合計			7,015,078,136
(固定負債)			
固定負債合計			0
負債合計			7,015,078,136
正味財産			113,752,419

## 提案事項 第4号提案

### 第12回社員総会の開催

定款第13条の規定により、第12回社員総会の開催について、次のとおり提案します。

1 日時

2025年6月16日（月）10:00開始

2 場所

東京商工会議所 渋沢ホール（東京都千代田区丸の内3-2-2）  
（Web会議併用）

3 議題

(1) 決議事項

- ・ 2024年度決算
- ・ 理事の選任及び再任
- ・ 監事の再任
- ・ 定款等の変更
- ・ 会計監査人の選任

(2) 報告事項

- ・ 2024年度事業報告
- ・ 2025年度事業計画及び予算

#### 【参考条文】

○公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 定款

第13条 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき第20条第3項に規定する代表理事が招集する。ただし、代表理事に事故あるとき又は代表理事が欠けたときは、あらかじめ理事会で定められた順位により各理事がこれにあたる。

# 公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

## 第27回理事会 役員名簿

(第27回理事会時点。協会役職順・氏名 五十音順。敬称略)

協会役職	氏名	所属・役職
会長・代表理事	十倉 雅和	一般社団法人 日本経済団体連合会 会長
事務総長・代表理事	河村 正人	事務総長
副会長・理事	石渡 恒夫	一般社団法人 神奈川経済同友会 代表幹事
副会長・理事	上野 孝	一般社団法人 神奈川県商工会議所連合会 会頭
		横浜商工会議所 会頭
副会長・理事	黒岩 祐治	神奈川県知事
副会長・理事	小林 健	日本商工会議所 会頭
副会長・理事	新浪 剛史	公益社団法人 経済同友会 代表幹事
副会長・理事	野並 直文	一般社団法人 神奈川県経営者協会 会長
副会長・理事	山中 竹春	横浜市長
副会長・理事	和田 新也	一般社団法人 日本造園建設業協会 会長
理事	草野 満代	フリーアナウンサー
理事	小室 淑恵	株式会社 ワーク・ライフバランス 代表取締役社長
理事	サヘル・ローズ	俳優
理事	田代 桂子	公益社団法人 経済同友会 副代表幹事
		大和証券グループ本社 取締役 兼 執行役副社長
理事	田中 里沙	学校法人 先端教育機構 事業構想大学院大学 学長
理事	ナリン アドバニ	entomo pte. ltd. Co-Founder BIPROGY 株式会社 社外取締役
理事	南場 智子	株式会社 ディー・エヌ・エー 代表取締役会長
理事	宮永 俊一	公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会財務委員会委員長
理事	望月 澄枝	横浜商工会議所 女性会 会長
理事	横田 響子	株式会社 コラボラボ 代表取締役
理事	吉高 まり	一般社団法人 パーチュデザイン 代表理事 東京大学教養学部 客員教授
事務次長・ 業務執行理事	佐藤 速水	事務次長
事務次長・ 業務執行理事	小池 政則	事務次長
事務次長・ 業務執行理事	栗本 尚幸	事務次長
事務次長・ 業務執行理事	八山 幸司	事務次長
監事	太田 眞晴	前日本公認会計士協会 神奈川県会 会長
監事	二川 裕之	元神奈川県弁護士会 会長